

令和3年度定例第2回理事会議事録メモ

期 日 令和3年12月11日(土) 10:30～

場 所 正田醤油スタジアム群馬会議室

1 開 会 角田副会長

2 あいさつ 平方会長

・対面理事会を開催でき感無量です。中曽根弘文名誉会長から引き継いでからお会いできずにいたことを残念に思っています。

・今後、陸協をどのようにしたいかということをお伝えしたい。

・20年前に理事長を始めたときに、続けてきた行事を引き継いできた。

・会長になったことで、群馬陸上競技協会をたくさんの方が集まってくるような組織に立ち戻りたいと考えている。ぜんぜん関係ないところから、陸上の経験があるとかたくさん話を聞いている。しかし、その中で過去に立ち返って歴史を調べることができずにいる。群馬陸上競技協会主催大会で開催した大会については、記録の管理をしっかりしたいと考えた。陸上の経験者がたくさんいるときに、データが確認できるようにしたい。昭和50年から紙ベースのものがある。2004年からはデータとして持っている。そのようなデータを見える化していろいろな方向から見られるような形にしたい。しかし、そのような技術を持っている会社を探すのが大変だったが見つかった。過去データについては、見通しがついた。今後は、映像について考えていきたい。年鑑については、本にしなくてもデジタルマーケティングに発展できるという話をもらった。そのためには、今のHPではだめだという結論に達した。外から見える群馬陸協にできそうな状況ができつつある。

事務局についても、どこに置いたらいいのか、群馬陸協の見える化をすすめデータをどのように管理したらいいのか考えていきたい。

・活性化するために、日本を代表する民主化した組織にしたい。世界陸連の規約によると民主化でない組織を認めないという条項がある。群馬陸協もそのような組織になるために、役員については、選挙で決めるのがいいと考えている。クラブの代表である理事の皆様が集まるのは、総会とかクラブ会とかという形になるかもしれない。群馬から、どこもやっていない民主化された男女平等な組織をつくりたいし、発信していきたいと考えている。

・財源を得て、群馬陸協の理事になったらいろいろな事業を行える、組織を動かせるという形にしていきたい。

3 出席確認

理事総数 48名 出席 48名、委任 5名 計 53名

4 報 告

(1) 日本陸連・関東陸協 理事長

・日本陸連関係12月7日に関東地区加盟団体連絡協議会がリモートで開催された。4名が参加した。日本陸連が今後どのような組織になっていきたいかという説明と東京を含めた各県の研究協議をおこなった。日本陸連は、国際的な競技力をもった選手の育成を柱にして競技会を開催したり、強化策を考えたりしたいという方向を持っている。関東各都県の女性理

事の登用が課題のセッションがあった。30%の女性登用を目指すという方向で各都県の取り組みを発表した。群馬陸協においては、なかなか届かない目標である。女性のおかれている環境が整っていないのかもしれない。現在大会運営に関わる女性、学生等に長く群馬陸協の活動に参加してもらえそうな環境を整えていきたい。

・運動部活動の運営について、特に中学校の活動について制約が多くなっている傾向がある。中、高等の選抜練習会等への出席について、引率者の問題が出てきている。地域での活動を強化につなげていくという方向も出ている。関東各都県においても小学生については各クラブで行っている状況もあるが、中学生においては、なかなか地域クラブで面倒をみるという方向にいかない。群馬においては群馬陸協主催での練習会等を行う方向で動き始めている。クラブ的なものに運動部活動を以降していく方向も出てきているので、所属の学校と協力して児童生徒の活動を保障してやらなければならない。ただし、中体連、高体連というしほりがあるので、うまい解決策はまだないが、群馬陸協の活動を考えながらやっていきたい。

・関東陸協関係は、8月の関東選手権（栃木）で理事会が開催された。そこで、群馬県が事務局を負ってから長く関東陸協会長は群馬陸協中曾根名誉会長であった。関東陸協会長は、関東陸協加盟団体の会長から選ぶという規約である。中曾根氏が群馬陸協名誉会長になったので、事務局のある県の会長が関東陸協会長になる。神奈川陸協会長の橘川氏が関東陸協会長になった。その他は、関東陸協事業が説明された。U19（東京）の関東選抜合宿は中止。U16 関東選抜合宿（熊谷）は開催予定。今回は、1月4日に開催される。

（2）各委員会報告事項

① 競技委員会

（審判部長）S級審判員の申請について

・申請は締め切っている。2月に日本陸連から合否が発表される。各クラブでは来年度以降も申請について日本陸連でも審査しているので、審判手帳の管理についてもルール通り行ってほしい。

（競技運営委員会）公認大会について

・手続きをとって大会を行うことはもちろんであるが、報告が終了後1週間以内とか短くなってきている。申請→大会開催→報告という流れをしっかりと行ってほしい。

・公認が認められた大会については、変更する場合は必ず報告する必要があり、期日等を変更になった場合など、日本陸連への報告は競技運営委員長以外からの報告はできないので、変更のあった場合は、必ず連絡をいただきたい。来年度の競技日程は、大枠固まってきたが、今後調整し日程を決めたい。

② 強化委員会

・東日本女子駅伝について 優勝した。

③ 普及委員会

（普及委員長）全国小学生交流大会について

・今回は、全員PCR検査を実施したものののみ入場可とう形で開催された。来年度は、今

年と同じ9月実施というところまで決まっている段階である。近年では、3月くらいに皆様に報告できると思う。12月17日に日本陸連普及委員会が開催される。

(3) 全日本実業団駅伝競走大会について (理事長)

・前回大会同様コロナ対策をして行う。無観客である。ボランティアの募集状況によると少し足りないので、東京マラソン財団のボランティアをお願いする。中継所の出入りについて、報道、選手関係について調査してお示ししたいと思っている。スタート・フィニッシュについては、スタンドは作らないで行う。26日から県庁昭和庁舎にて準備が行われる。

(4) 群馬県駅伝競走大会について (理事長)

・今回は、1回やらせていただき、夏の榛名湖駅伝と合わせて群馬陸協の駅伝大会として位置付けていきたい。

(吾妻)

・各クラブに聞いてまとめてほしい。

(5) 中体連・高体連

《中体連》(委員長)

・前半の大会が中止になった。上位につながる大会は実施可となったが、大会参加の機会が減ってしまった。資料は関東、全国です。令和8年から全国中学の規模縮小が言われている。中学生の陸上競技人口を増やしていかなければと考えている。

《高体連》(委員長)

・高体連の大会は、ほぼできた。今年度の活動を資料としてまとめた。

5 協議事項

- 第1号 栄章並びに諸表彰について (事務局長) 承認
- 第2号 英和4年度行事日程(競技日程)について (競技運営委員長) 承認
- 第3号 専門委員会提案事項
- 1) 総務委員会 群馬陸上競技年鑑について (総務委員長)
来年の年鑑からデジタル化するので、印刷製本はしない。
協賛金の募集も違った形で行う。 承認
- 2) 強化委員会 全国男女駅伝選手選考について (強化委員長)
チームの一任でお願いしたい。 承認
- 第4号 群馬陸協HPについて
新しいトップページを作成する。 承認
- 第5号 その他
- ・群馬県駅伝選手変更時間について、早すぎる。

6 その他

7 閉会 杉本 副会長